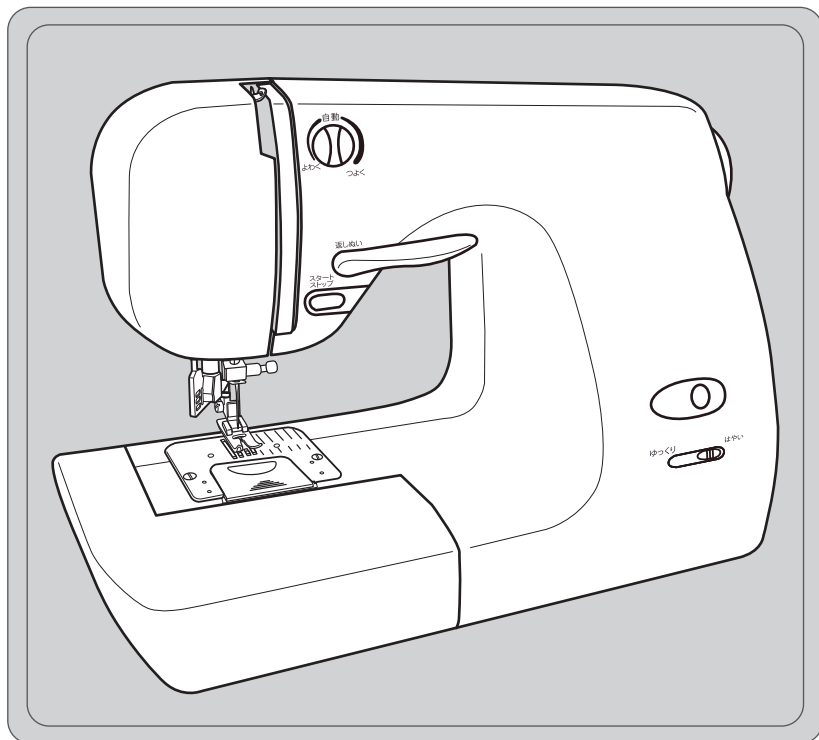


家庭用電子ミシン

取扱説明書

型式: **YM98-1** シリーズ



使用上の注意

ぬつための準備

ぬつてみる

こんなときは

- このミシンを安全にご使用していただくため、取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。
- 取扱説明書はお手元に保管し、未長くご使用ください。

brother®

もくじ 表紙裏

安全にお使いいただくために 1~3

- 表示の説明について 1
- 警告 2
- 注意 3

使用上の注意 4

- 守っていただきたいこと 4

各部のなまえとはたらき 5~7

- 補助テーブルのはずしかた 5
- 補助テーブル/付属品 5
- 補助テーブルふたのはずしかた 5
- 本体(前面) 6
- 押え、針部分/本体(後面) 7

縫うための準備 8~18

- 正しい針の選びかた 8
- 針の取りかえかた 8
- 押えのはずしかた 9
- 押えの取り付けかた 9
- 電源コード接続の前に 10
- 電源を入れる 10
- ミシンをスタートさせる 11
- ボビンの取り出しかた 11
- 下糸の巻きかた 12~13
- 下糸のかけかた 14
- 上糸のかけかた 15~16
- 針穴糸通し器の使いかた 16~17
- 下糸の引き上げかた 17
- 模様の選びかた 18
- 模様の種類 18

縫ってみる 19~27

- 直線模様を縫う 19
- 糸調子のとりかた 20
- 布裏がタオル状になるとき 20
- 針と糸、布地の関係 20
- 返し縫い 21
- 縫い方向のかえかた 21
- 厚い布地の縫い始め/段縫い 21
- ジグザグ縫い模様/ふちかがり 22
- ボタンホールのはずしかた 23~24
- まつり縫い 24
(ブラインドステッチ)
- 点線ジグザグ縫い 25
- パッチワーク 25
- 伸縮強化縫い 26
- アップリケ 26
- フリーアームの使いかた 27
- 別売りフットコントローラーの使いかた 27

お手入れのしかた 28~29

- お手入れの前に 28
- ゴミをとる 28
(外ガマ内と送り歯ミゾすき間)
- ボビンケースを装着する 29
- ランプの交換 29
- 注油について 29

こんなときは 30~31

修理サービス要項/仕様 32



サービス工場のご案内 33

保証書 裏表紙








安全にお使いいただくために

●表示の説明について

この取扱説明書および商品には、安全にミシンをお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視し、誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
同梱の電源コードはこのミシン以外には使用しないでください。

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じるおそれがある内容を示しています。 |

この説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

| 危険性を促す記号 | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 火災の原因になります | 感電の危険性があります | ケガの危険性があります |
| 行為を「禁止」する記号 | | |
|  | |  |
| してはいけないこと | | 分解禁止 |
| 行為を「指示」する記号 | | |
|  | |  |
| 必ずすること | | 電源プラグをコンセントから抜く |

- このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.
国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねます。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることを、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

警告



死亡、火災、感電のおそれがあります。

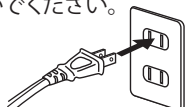
使用上の注意



火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。

同梱の電源コードは、このミシン以外には使用しないでください。

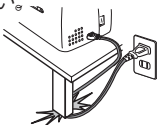


AC100V 50/60Hz

電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結びねじれ、加工はしないでください。



電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。



延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。



傷付いたり、溶けて線がむき出しになった電源コードを使わないでください。

コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正の電源コードをお買い求めください。



火災・感電の原因となります。
販売店・サービスセンターにご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜いてください。



落としたり正常に作動しないときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。



死亡の原因となります。

特にお子様は袋などの梱包材やミシンの付属品・ミシンから外した部品は絶対に口に入れないでください。

窒息など身体に影響を及ぼす恐れがあります。



電源コードを身体に巻きつけないでください。

窒息やうっ血の恐れがあります。



袋などの梱包材をかぶらないでください。

窒息をする恐れがあります。





注意



ケガや財産に損害が生じるおそれがあります。

| | |
|--|---|
|    | <p>電源コードを引き抜くときは電源プラグを持ってください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。</p> |
|    | <p>電源コードはミシンに巻き付けしないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。</p> |
|   | <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。</p> |
|   | <p>不安定な場所に置かないでください。</p> <p>動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。 手や指をはさむ、指に針が刺さるなどケガの原因になります。</p> <p>曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。</p> <p>すべり板を開けたままミシンを操作しないでください。</p> <p>縫製中に布を無理に引っぱったり押ししたりしないでください。 手や指をはさむ、指に針が刺さるなどケガの原因になります。</p> |
|    | <p>ミシンを使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になるおそれがあります。</p> <p>ミシンから離れたり使用を中断するときは、電源プラグを抜いてください。火災の原因になるおそれがあります。</p> |
|   | <p>幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になるおそれがあります。</p> <p>糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。</p> |
|  | <p>ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。</p> <p>交換した針を放置しないでください。</p> <p>お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときには特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。</p> <p>針・押え・アタッチメント・ランプを交換するときは、電源スイッチを「切」にしてください。 作業途中にミシンが動くおそれがありケガの原因となります。</p> <p>屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。</p> |

使用上の注意

●守っていただきたいこと

長くお使いいただくため、次のことを守ってください。
業務用や縫製以外の目的には、ご使用にならないでください。
極度の部品摩耗や破損につながります。



注意



ケガやミシンの故障が発生するおそれがあります。

●曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。
・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをするおそれがあります。
・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

●このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

- ・木、プラスチック、金属などの板
- ・ぬれた布、粗い網(漁網など)
- ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布
- ・厚さ6ミリ以上の布

●保管時の結露(つゆつき)について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。
結露がなくなるまで、電源を入れずにお待ちください。
そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

●直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

●糸がらみのとき、糸・布を引っぱらない

針や部品を破損します。
絡んだときは針板をはずし、針糸と針板裏側の糸を切ると布がはずれます。

●ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で拭いてください。
ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

●説明書で指定された以外の分解・改造はしない

ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。







●使用した後、上糸と糸立棒をはずす

糸をかけたまま収納すると、糸立棒を破損します。上糸と糸立棒をはずし、カバーをかけてください。

●長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

各部のなまえとはたらき

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
|  警告 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・付属品でお子様がかがをする恐れがあります。保管には充分ご注意ください。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを身体に巻きつけないでください。窒息やうつ血の恐れがあります。 |
| |  |  | <ul style="list-style-type: none"> ・付属品などの小さな部品は口に入れないでください。窒息をする恐れがあります。 |  |

●補助テーブルのはずしかた

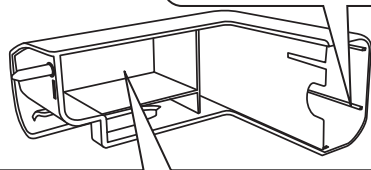
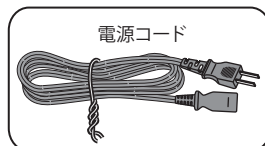
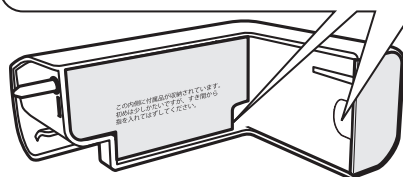





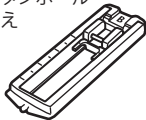



補助テーブルは左の図のように取りはずすことができます。

●補助テーブルふたのはずしかた

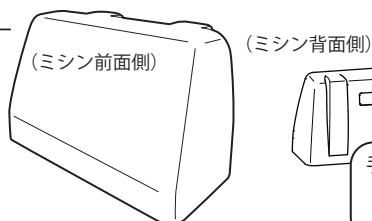
●補助テーブル/付属品

それぞれのすき間より指を入れてふたを引き出します。



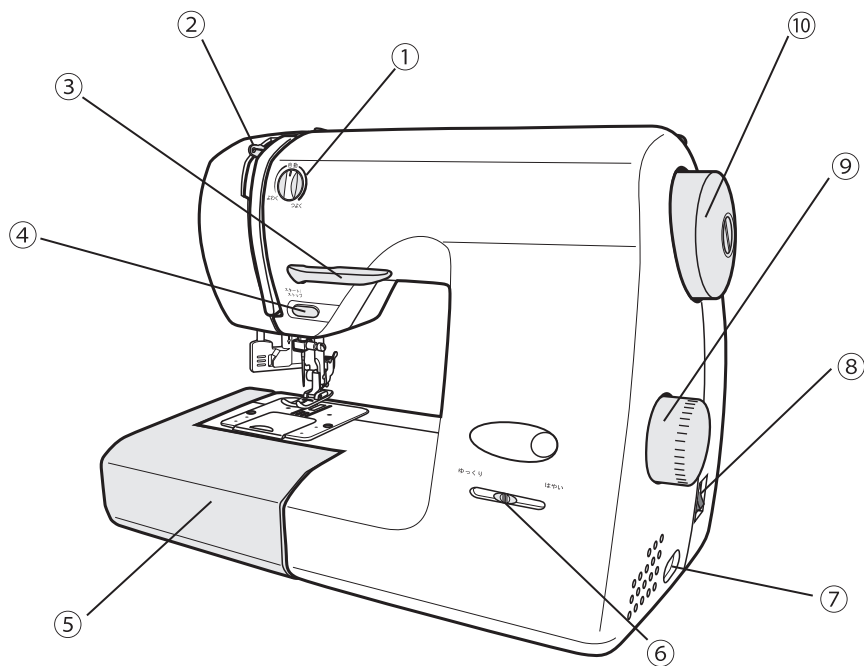
| | | | | |
|--|---|--|---|--|
| ボビン×5コ  | 針板 ※1 ドライバー  | 糸コマ押え  | ボタンホール 押え  | 針パック 家庭用ミシン針 (3本入り) 11、14、16  |
| ブラシ  | リッパー  | ※1 針板ドライバーは針板止めネジだけでなく、針止めネジ・押えホルダー止めネジにも使用します。 | | |

ミシンカバー



手持ちハンドル用穴
ミシンカバーでミシンを覆ったまま持ち運びができます。

●本体(前面)



1) 上糸調節つまみ (P.20)

つまみを回し、縫いあがりの上糸を調節します。

2) 天びん (P.16)

3) 返し縫いレバー (P.21)

返し縫い・止め縫いのときに使います。レバーを下げている間は後進します。

4) スタート/ストップボタン (P.11)

電源スイッチが「ON」のときボタンを押すと動き始めます。もう一度押すと針上で止まります。
※オプション部品フットコントローラーを接続しているときは操作できません。

5) 補助テーブル (P.5)

テーブルの中に、電源コードと付属品が収納されています。

6) スピード調節つまみ (P.11)

つまみを左右に動かし縫う速度を自由に変えることができます。
右にするほど速く、左にするほど遅くなります。

7) 電源プラグ受け (P.10)

8) 電源スイッチ (P.10)

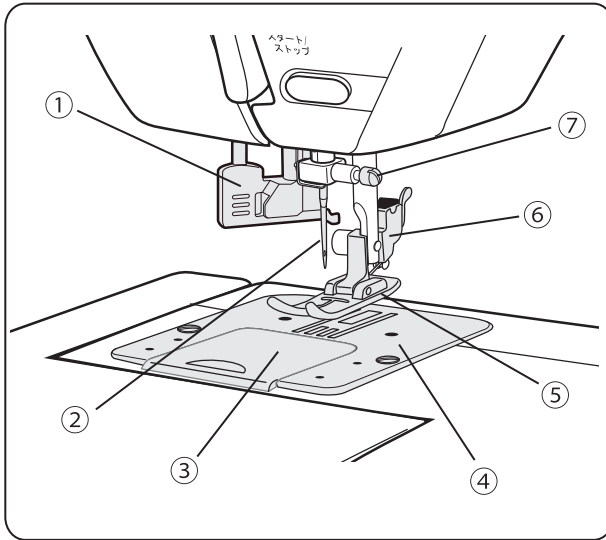
電源を「ON」/「OFF」します。●印を押すと「ON」になり、ランプが点灯します。無印を押すと「OFF」になり、消灯します。

9) 模様選択ダイヤル (P.18)

ダイヤルをまわし、18種類の模様を選ぶことができます。
まわすときは必ず針を上げてください。

10) はずみ車

●押え、針部分



1) 針穴糸通し器 (P.16)

針穴に糸を通すときに、レバーを下げます。

2) 針

3) すべり板

すべり板を引くとボビンが取り出せます。

4) 針板

5) ジグザグ押え

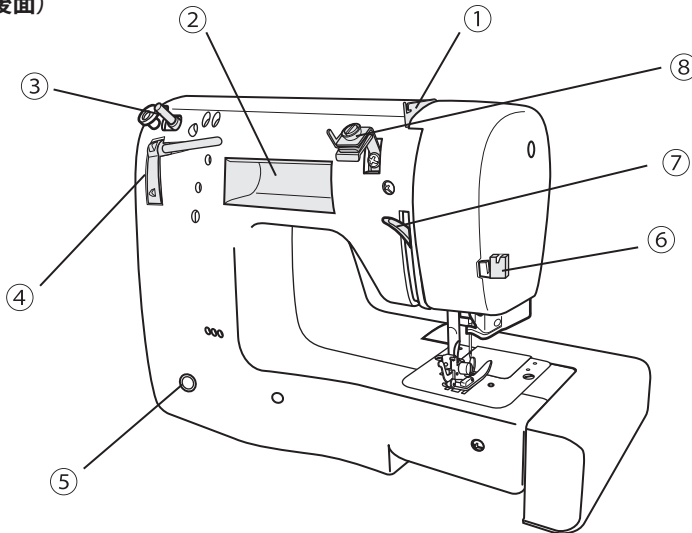
6) 押えホルダー (P.9)

押えを押えホルダーレバーで交換できます。

7) 針止めネジ (P.8)

針を交換するとき、ネジをゆるめます。

●本体(後面)



1) 上糸かけ

2) 手持ちハンドル

3) 下糸巻き軸

下糸を巻くときに使います。軸をはずみ車側に近づけると軸が回り、離すと針が動きます。

4) 糸たて棒

5) ジャック受け口




フットコントローラー(別売り)を差し込んでいるときはスタート/ストップボタンで操作できません。

6) 糸切り

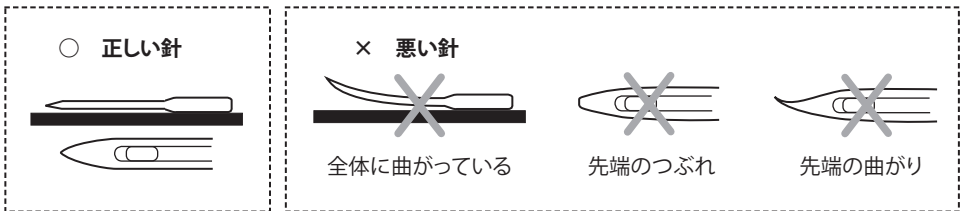
7) 押え上げレバー

8) 下糸巻き案内 / 上糸案内

●正しい針の選びかた






| | |
|---|---|
|  注意 |  曲がった針を使わない 針が折れ、飛び散るおそれがあります。ケガをするおそれがあります。 |
| |  針は家庭用ミシン針(HA×1)を使う 上糸と下糸は原則的に同じ種類・同じ太さのものを使う |

- ・目飛び・糸がらみがある場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。新しい針に交換してください。



※ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

●針の取りかえかた

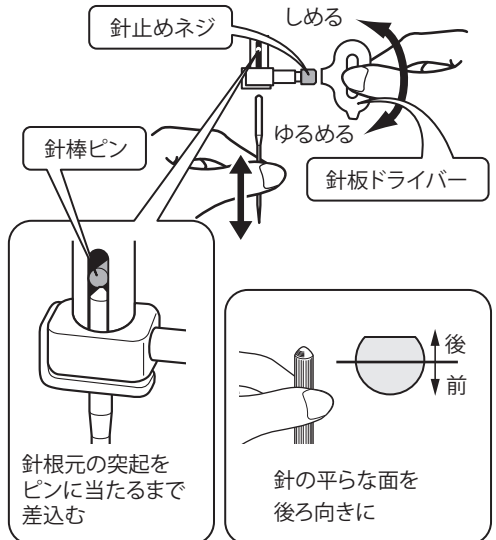
| | |
|---|---|
|  注意 |   電源スイッチを「OFF」にする ケガをする恐れがあります。 |
| |   針先に注意する ケガをする恐れがあります。 |

1 はずみ車を手前にまわし、針を上げます。

2 針はずす / つける






はずす：取り付けられている針を持ち、針止めネジをゆるめ、針を下に引き抜きます。

つける：平らな面を向こう側に持ち、右図の針棒ピンに当たるまで差込み、針止めネジをしめます。

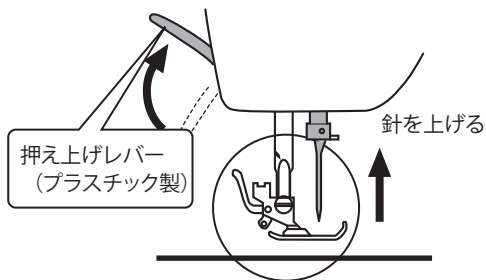


※付属の針板ドライバーを使ってください。

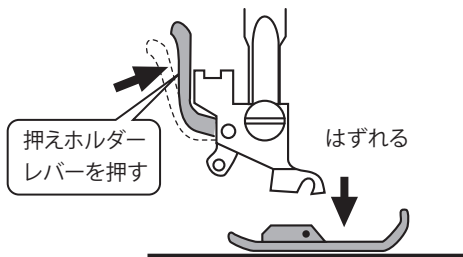
●押えのはずしかた

| | | |
|---|---|--|
|  注意 |   | 電源プラグを抜く 突然動くとかガをするおそれがあります。 |
| |   | 針先に注意 ケガをするおそれがあります。 |






1 押え上げレバーを上げる



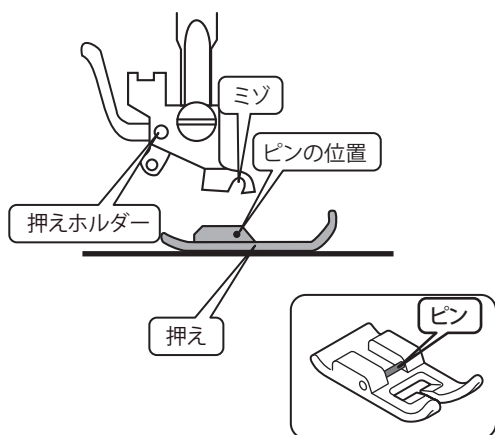
2 押えホルダーレバーを押しジグザグ押えをはずす



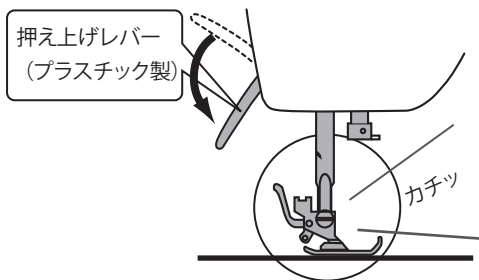
●押えの取り付けかた

| | | |
|---|---|--|
|  注意 |   | 電源プラグを抜く 突然動くとかガをするおそれがあります。 |
| |   | 針先に注意 ケガをするおそれがあります。 |

1 押え上げレバーを上げ、押えのピンを本体の押えホルダーミズの真下にあわせる



2 押え上げレバーを下げる



- 押え上げレバーを下げてカチッと音がすると押えが装着できています。
- 押えを取り付け後に、押えが上がらない場合は、もう一度押えの位置を少しずらして繰り返してください。

●電源コード接続の前に



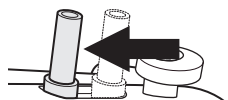
注意

- ・安定した場所に設置する
- ・作業スペースを十分に確保する
- ・周囲に物を置かない

※ミシンを持ち運ぶ際には、後面のハンドル部分に手を掛けて持ち運びます。

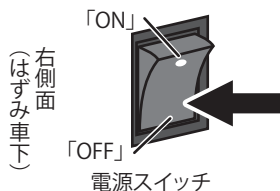
- 1 電源スイッチ（はずみ車側下端）を「OFF」にします。
- 2 下糸巻き軸（ミシン上部はずみ車横）を左に寄せます。
（右にあると針は上下に動きません）

下糸巻き軸



スタート/ストップスイッチ
で針が上下する状態

電源「OFF」



右側面
（はずみ車下）

電源スイッチ

ぬうための準備

●電源を入れる

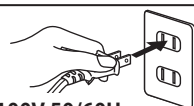


警告



電源コードはプラグを
持ち抜き差しをする

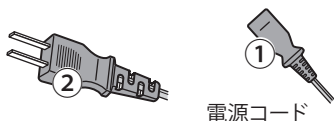
死亡、火災、感電のおそれがあります。



AC100V 50/60Hz

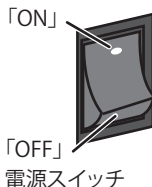
- 3 電源コードのプラグ①をミシン本体の電源プラグ受けに、プラグ②をコンセントに差し込みます。
- 4 電源スイッチを「ON」にすると照明ランプが点灯します。

電源コードの接続



電源コード

電源「ON」



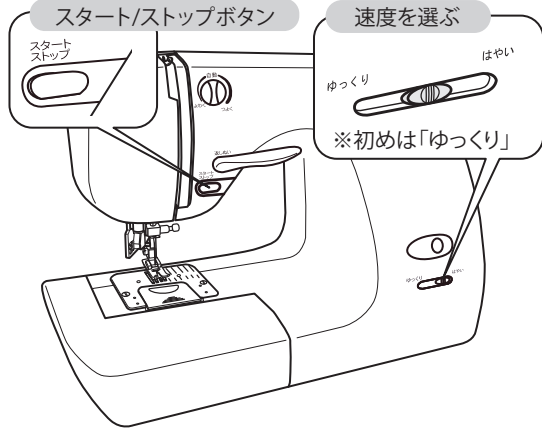
電源スイッチ

電源プラグ受け




●ミシンをスタートさせる

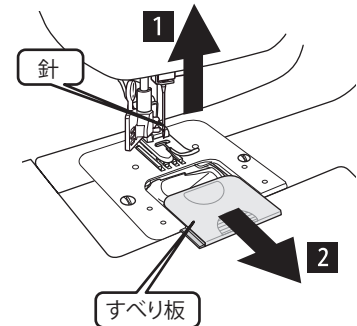
- 5 スタート/ストップボタンを押すと針がゆっくりと上下を始めます。もう一度このボタンを押すと針は上で止まります。
- 6 ミシンの速度は自由に選ぶことができます。慣れるまでは「ゆっくり」にして始めてください。

フットコントローラーを接続しているとき、スタート/ストップボタンは操作できません。



●ボビンの取り出しかた

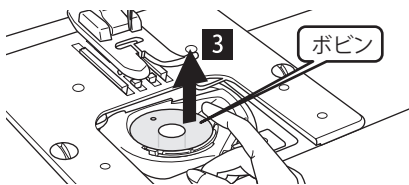
| | | |
|---|---|---|
|  注意 |  | 電源プラグを抜く 突然動くとかガをするおそれがあります。 |
| |  |  |



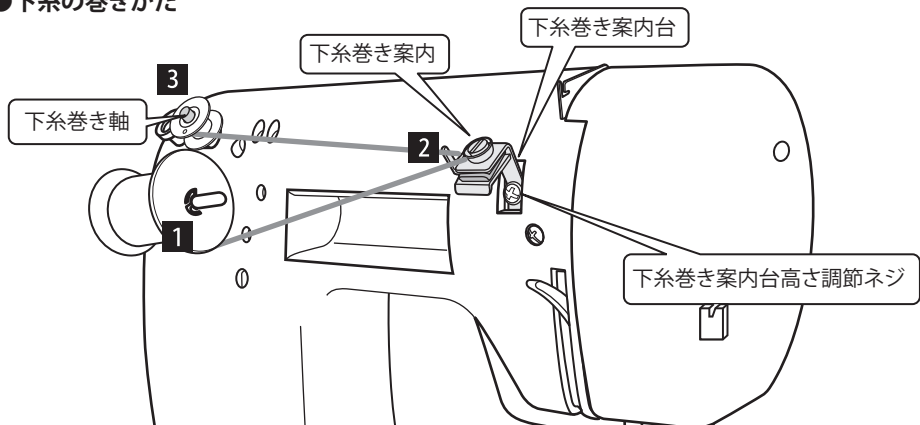
1 はずみ車を手前にまわし、針を一番高い位置まで上げます。

2 すべり板を手前に引き、開きます。

3 ボビンケースの中のボビンを取り出します。



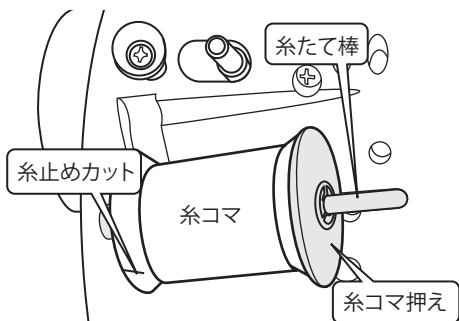
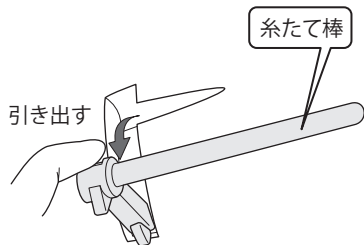
●下糸の巻きかた



ぬったための準備

1 糸たて棒を手前に引き出します。

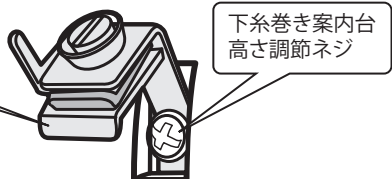
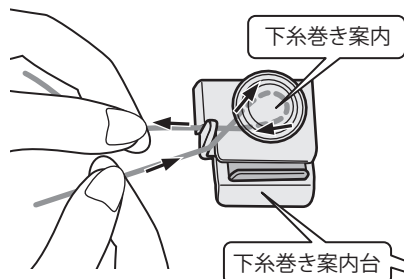
糸コマは、糸止めカットをはずみ車側に向け差し込みます。糸コマ押えは膨らみを糸コマに向け抜けないように押えます。



2 下糸巻き案内に糸を時計回りにかけます。

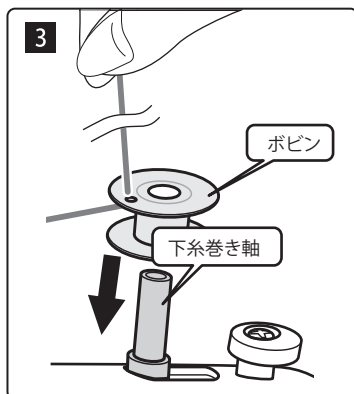
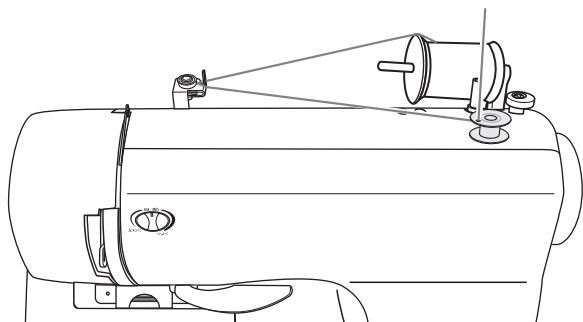


ボビンの糸が均一に巻けない場合は下糸巻き案内台高さ調節ネジを180度ゆるめ、下糸巻き案内台の高さを調整します。



3 下糸巻き軸にボビンをセットする

ボビンの穴に内側から糸を通し、ボビンを下糸巻き軸に差し込みます。



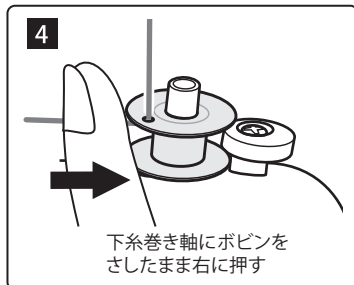
4 下糸巻き軸にボビンをさしたまま、右側によせる

5 電源スイッチを「ON」にする (P10参照)

6 スピードツマミを「ゆっくり」にする (P11参照)

7 スタート/ストップボタンを押し、糸巻き軸をスタートさせる

(P11参照) ボビンの穴からの糸をつまんだまま、スタート/ストップボタンを押します。



回転しているボビンに触れない

ケガの原因になります。



下糸巻き中は針は動きません。

8 下糸巻き軸を止める

スタート/ストップボタンを押します。

9 つまんでいた糸を切る

つまんでいた糸は必ずボビンの穴部分で切り落としてください。

10 再び、スタート/ストップボタンを押す

そのままボビンの回転がストップするまで糸を巻き続けます。

11 下糸巻き軸を止める

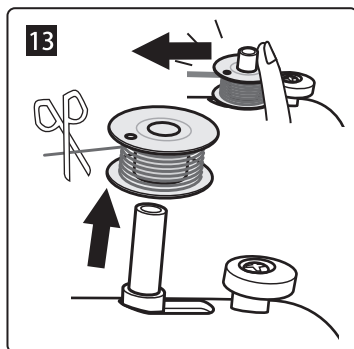
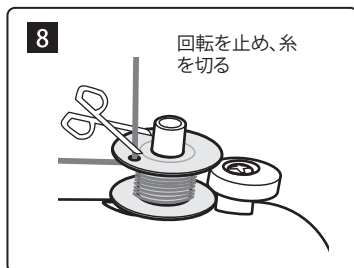
ボビンの下糸巻き軸が止まったら、スタート/ストップボタンを押します。

12 電源スイッチを「OFF」にする

突然動くとかげをする恐れがあります。

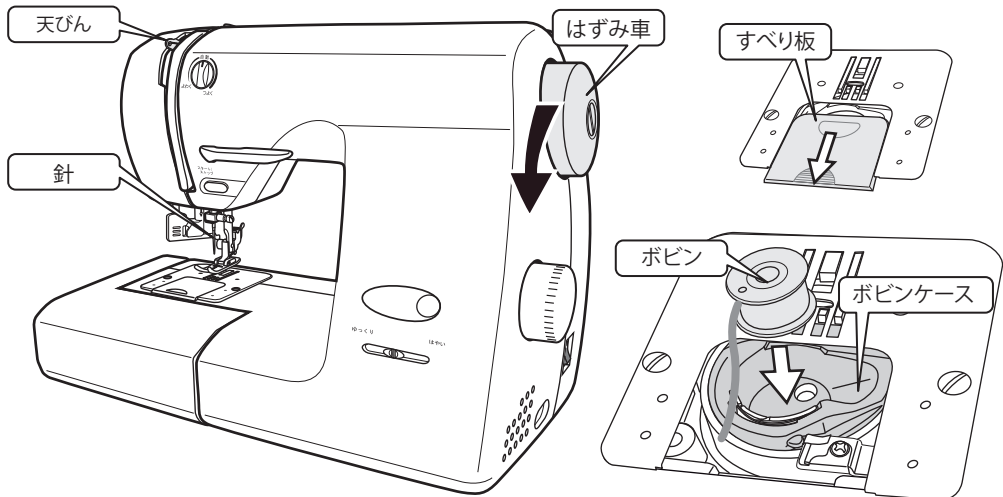
13 下糸巻き軸を左側に戻し、ボビンを引き抜く

下糸巻きが完了です。糸を切り、ボビンを内ガマにセットしましょう。



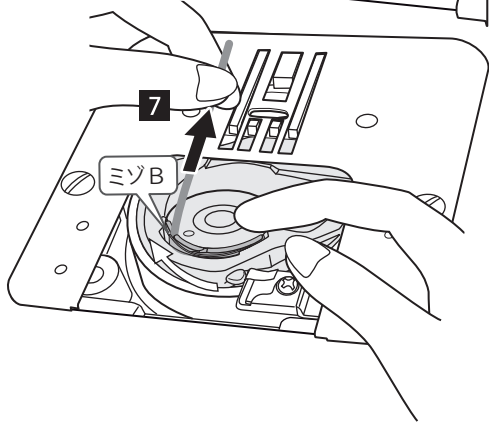
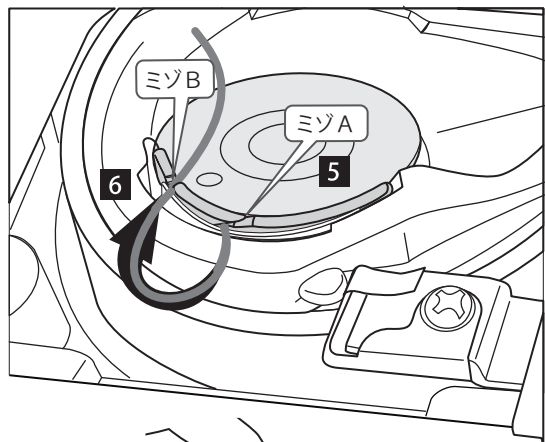
●下糸のかけかた

注意 **電源スイッチを「OFF」にする**
突然動くとケガをする恐れがあります。



ぬうための準備

- 1 はずみ車を手前にまわし、針・天びんを上げます。
- 2 押え上げレバーを上げます。
- 3 すべり板を開きます。
- 4 ボビンから糸を10cmほど引き出し、ボビンの左から糸が出るようにしてボビンケースにセットします。
- 5 ボビンを軽く指で押え、引き出した糸を **ミゾA** にかかけます。
- 6 かけた糸を手前に引っ張り、**ミゾA** から左側へすべらせませす。
- 7 糸を **ミゾB** の上にのせ、矢印の方向に10cmほど引き出します。
- 8 すべり板を閉めます。



針に注意する
ケガをする恐れがあります。

●上糸のかけかた



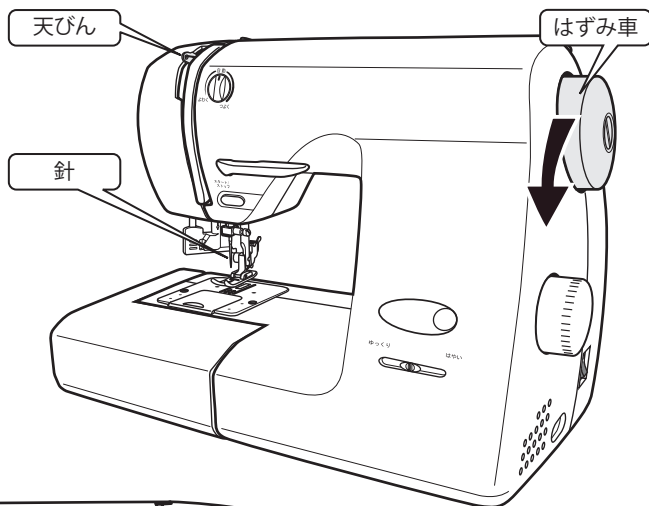
注意



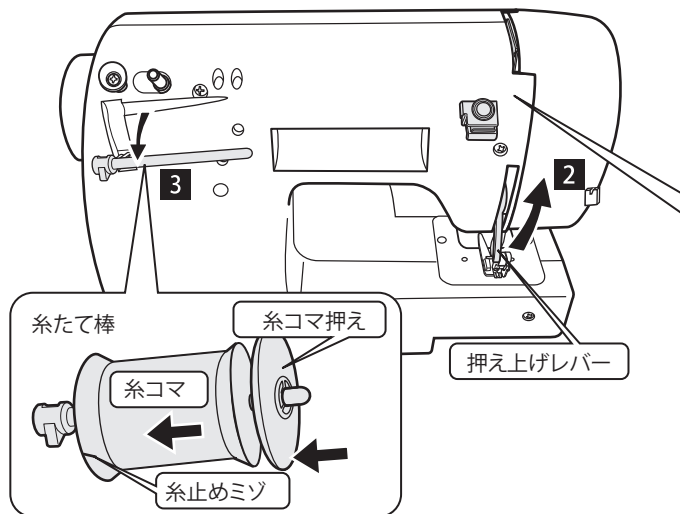
電源スイッチを「OFF」にする

突然動くとかガをする恐れがあります。

- 1** はずみ車を手前にまわし、針・天びんを上げます。(右図)



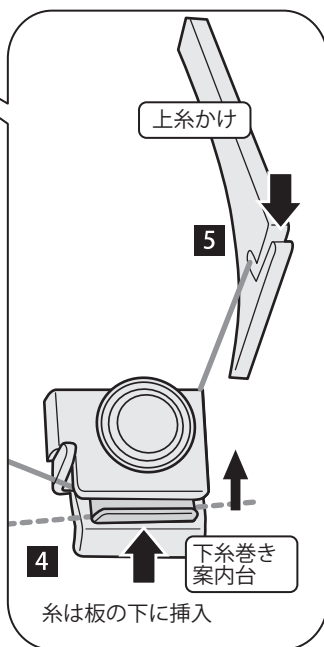
- 2** 押え上げレバーを上げます。



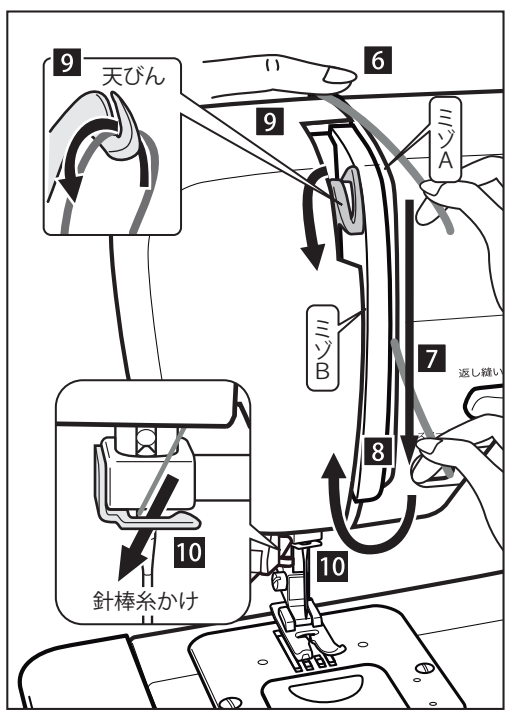
- 3** ミシン後面に収納されている糸たて棒を引き出し、糸コマの糸止めをはずみ車側に向けて差し込みます。さらに、糸が外れないよう糸コマ押えで押えます。

- 4** 糸コマから糸を引き出し、下糸巻き案内台にかけます。




- 5** 上糸かけに糸をかけます。



- 6 糸かけで糸を押え、**ミゾA** に上から糸を入れます。
- 7 糸を押えたまま **ミゾA** をなぞり、ミゾ下まで糸を引き下げます。
- 8 引き下げた糸を **8** につけ、**ミゾB** をなぞり、引き上げます。
- 9 **8** から引き上げた糸を天びんに拡大図のように右から左へかけます。
- 10 天びんから下へ **ミゾB** をなぞり、針棒糸かけまで引き下げ、図のように右からかけます。

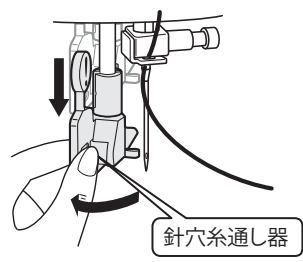


●針穴系通し器の使いかた

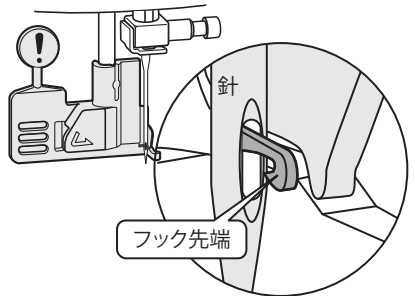
| | | |
|---|---|--|
|  注意 |  | <p>針穴系通し器は針の太さが #11以上でお使いください。 #10より細い針は使えません。</p> |
| |  | <p>押えを下げ、針を一番上まで上げる。 フック先端と針穴の高さを一致させるため。</p> |

上糸かけの **1** ~ **10** まで終わったあと、針穴系通しをします。

- 1** 針穴系通し器をつまみ、引き下げます。



- 2** 針穴系通し器を下げたまま回転させ、手を離します。
針穴にフック先端が通ります。



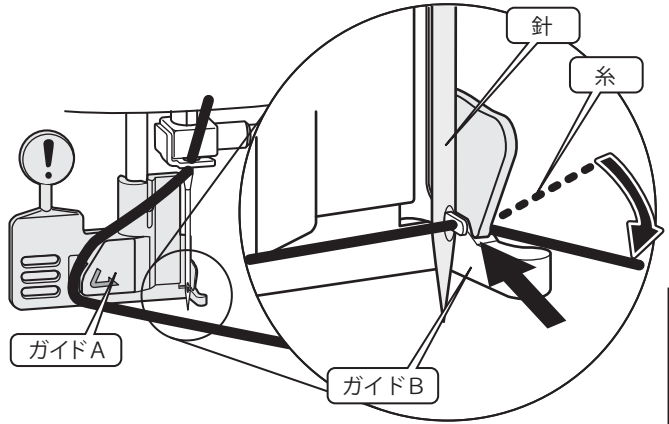


注意



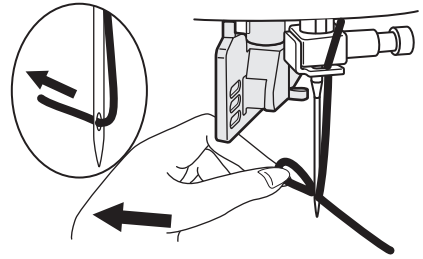
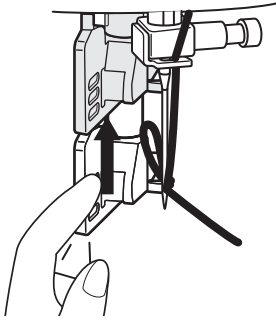
針穴糸通し器操作中は、針を上下させない。
フック先端が破損します。

- 3** **2** のまま、**ガイドA** にかけた糸を右水平にし、**ガイドB** に糸をのせ、針に糸を押し当てます。



- 4** 針穴糸通し器を戻します。針穴後ろに糸の輪ができます。

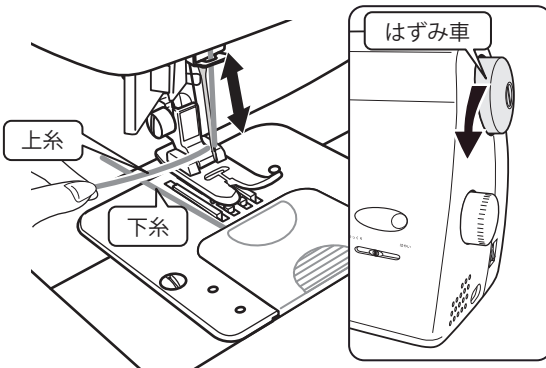
- 5** 針の後ろに出ている糸の輪をつまみ、引き出します。



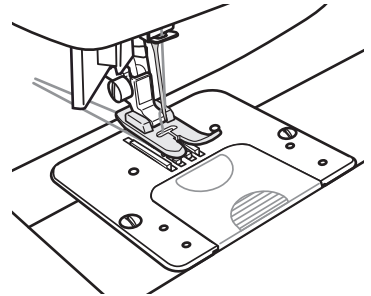
●下糸の引き上げかた

- 1** 針穴からの糸はしを持ち、針が最上点になるまではずみ車を手前にまわします。

- 2** 糸はしを軽く引っ張ると、下糸が上がります。



- 3** 上下糸をそろえ、10cmほど押えの下から引き出します。

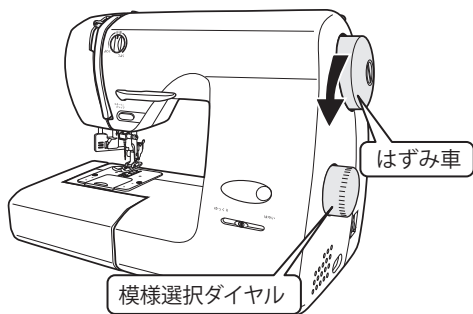


ぬうための準備

● 模様を選びかた

模様選択ダイヤルをまわし、お好みの模様にします。

ダイヤルは前後どちらにもまわすことができます。



注意



針穴の糸を持ち、はずみ車を針が最上点になるまでまわす。

模様選択時に、針が下がっていると左右に動くため曲がります。また、糸がかかっているときは絡まないように注意してください。

● 模様の種類

| | | | | | | | | |
|-----|----------------------|---------|------|--------|----------|--------|----------------------------------|--|
| 模様 | | | | | | | | |
| 呼び名 | 直線 | | ジグザグ | | | | 点線ジグザグ | |
| | 左基線 | 中基線 | 幅／小 | 幅／中 | 幅／大 | 密着縫い | | |
| 押え | <p>標準押え (ジグザグ押え)</p> | | | | | | | |
| 模様 | | | | | | | | |
| 呼び名 | まつり縫い | 伸縮まつり縫い | 伸縮縫い | 縁かがり縫い | 三重ジグザグ縫い | 三重直線縫い | ボタンホール | |
| | | | | | | | サイドステッチ 左側 かんぬき止め サイドステッチ 右側 | |
| 押え | <p>標準押え (ジグザグ押え)</p> | | | | | | <p>ボタンホール押え</p> | |

縫ってみる

●直線模様を縫う



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が上下しません。



ジグザグ押え



1

天びん

上糸調節ツマミ

スタート/ストップ
ボタン

針

スピード調節ツマミ

4
模様選択ダイヤル

電源スイッチ

針左

針中央



縫い始めるときは、押えを下げます
糸が絡み、縫い損じになります。



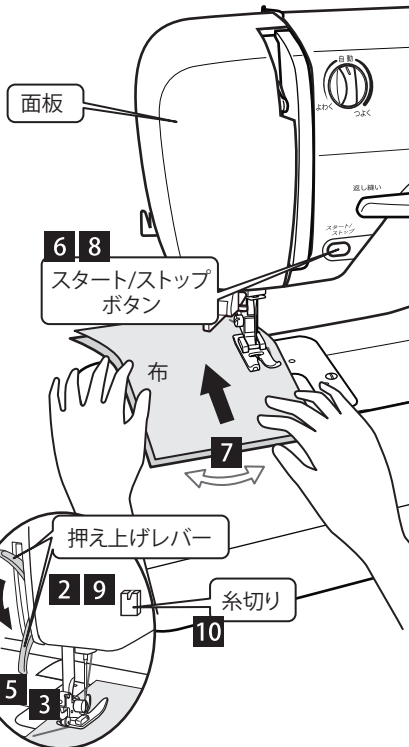
模様選択時は、針を上げます
針が折れ、ケガをします。

- 1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天びんが上がるまではずみ車を手前にまわします。
- 2 押えを上げ、上下糸を10cmほど引き出します。
- 3 押えの下に布地をおきます。
- 4 直線模様を選びます。
- 5 縫い始める位置に針をさし、押えを下げます。



針先に注意する
ケガをする恐れがあります。

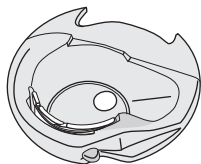
- 6 電源スイッチを「ON」にし、スタート/ストップボタンを押します。
- 7 縫う箇所によって、布地の向きを調整します。
- 8 もう一度スタート/ストップボタンを押し、ミシンを停止させる。(針上で停止します)
- 9 押えを上げ、布地を引き出します。
- 10 面板の糸切りで糸を切ります。



●糸調子のとりかた



ボビンケース(下糸)のネジは調整しないでください
一度調整するとともに戻らなくなります。次に、縫うときに
上下糸調子が合わなくなります。

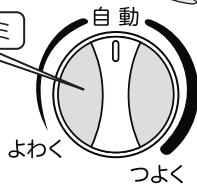


正常な糸調子



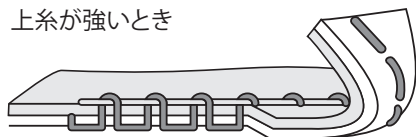
自動糸調子です。一般的な布・糸は基本的に
上糸調節つまみを自動にします。

上糸調節つまみ

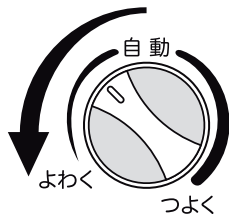


糸調子が合わない場合は

上糸が強いとき



上糸がつっている場合は上糸を弱めます。

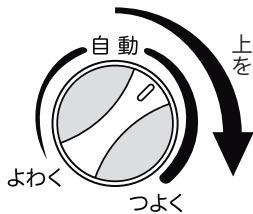


上糸調節つまみをよわくする。

下糸が強いとき(上糸が弱いとき)

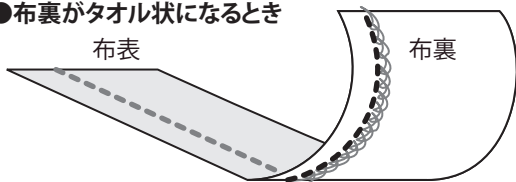


下糸がつっている場合は上糸を強めます。



上糸調節つまみをつよくする。

●布裏がタオル状になるとき



左図のように布地の表側は普通に縫え、
裏側がタオル地のようにするのは上糸の
調子が弱いか上糸のかけかたがまちがっ
ています。P15~17をごらんのうえ、正しく
かけ直してください。

●針と糸、布地の関係

- きれいに縫うためには、布地に合った針と糸をご使用ください。(下表参照)
- 上糸と下糸は同じ種類・同じ太さのものをご使用ください。
- 針は家庭用ミシン針(HAx1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
- 工場出荷時、ミシンには14番の針が装備されています。(その他付属の針は P5 参照)

| 布地の種類 | | 糸の番号 ※1 | | 針の番号 ※2 |
|--------|---|-------------------------------------|--|----------------|
| 薄地 | 薄地ジョーゼット、ボイル、タフタ、オーガンジー、絹布など。 | 綿 80~100 絹 60 ~ 80 化繊糸 80~100 | | 9~11 |
| 普通地 | さらさ木綿、薄手コーデロイ、ピケ、ギンガム、リンネル、サテン、別珍、一般服地など。 | 綿 50 ~ 80 絹 50 化繊糸 50 ~ 80 | | 11~14 |
| 厚地 | ギャバジン、ツイード、キルティング、デニム、コーデロイ、タオルなど。 | 綿 40 ~ 50 絹 50 化繊糸 50 ~ 60 | | 16 |
| 伸縮性の生地 | ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。 | 綿 60 化繊糸 50 ~ 80 ニット用糸 | | ニット用針 11~14 |

※1:糸は数字が大きくなるほど細くなります。

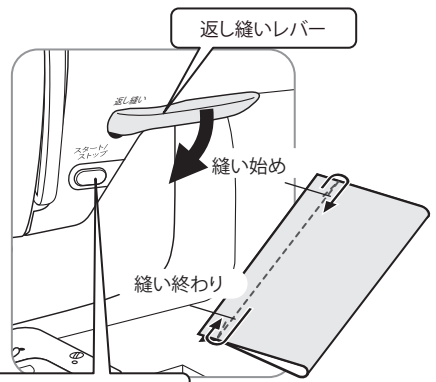
※2:針は数字が大きくなるほど太くなります。

●返し縫い

- 1 返し縫いレバーを下に押し下げながらスタート/ストップボタンを押すと布地が後進します。
- 2 返し縫いを終えるときは、返し縫いレバーから手をはなすと前進縫いに戻り、もう一度スタート/ストップボタンを押すと止まります。

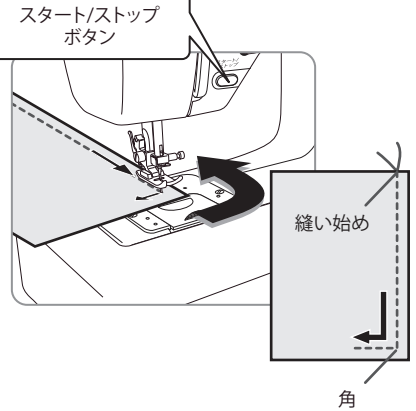
ワンポイント

縫い始めと縫い終わりに3～5針返し縫いをしてしまうと縫い目がほころびず、丈夫になります。



●縫い方向のかえかた

- 1 布地の角まできたら、スタート/ストップボタンを押し、ミシンを止めます。
- 2 はずみ車を手前にまわし、針を布地に刺します。
- 3 布地に針を刺したまま、押えを上げます。
- 4 針を軸にして布地を回し、縫い方向を変えます。
- 5 押えを下げて、縫い始めます。



●厚い布地の縫い始め/段縫い

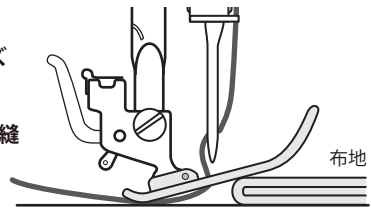


注意

針先に注意する

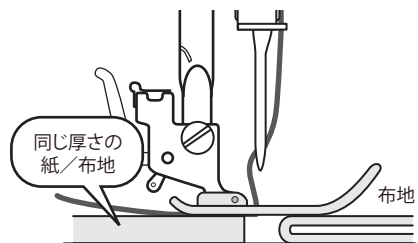
ケガをする恐れがあります。

押えが斜めになり、布地の山を越えられない



- 厚い布地のはしから縫い始めるときは、押えが傾いてスムーズに布地が進まないことがあります。
- このようなときは、押えの下に同じ厚さの布地や厚紙をあてて縫い始めます。
(押えが水平になり、布地が引っかかりなくなります)
- また段縫い(布地が重なり急に厚くなる部分)では手前でミシンを一時停止させ、速度を「ゆっくり」にして布地が進むように補助しながら再び縫い進めてください。

押えが水平になり、布地がスムーズに進む



●ジグザグ縫い模様/ふちかがり

| | | |
|---|---|--|
|  注意 |   | 針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。 |
| |   | 模様選択時は、針を上げます。 針が折れ、ケガをします。 |
| |   | 下糸巻き軸を左にしてください。 下糸巻き軸が右側にあると、針が上下しません。 |

- 1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天びんが上がるまではずみ車を手前にまわします。
- 2 模様選択ダイヤルをジグザグ/ふちかがり縫い模様に合わせます。

布地のほつれ止め端縫いや伸縮性のある布地を縫うなど、いろいろな用途に使えます。



ワンポイント

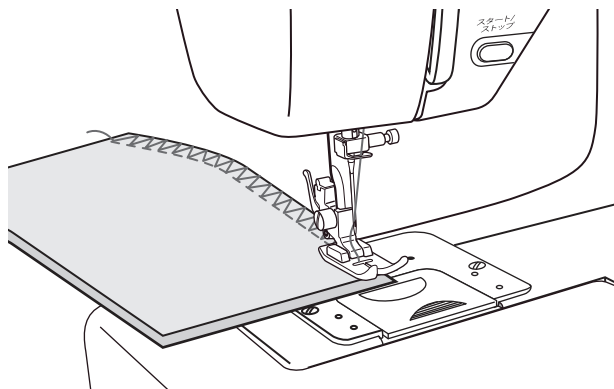
ジグザグ/ふちかがり縫い模様は直線模様比べ、糸調子をわずかに弱めるときれいに仕上がります。



ジグザグ模様



ふちかがり模様



ぬってみる

● ボタンホールの作りかた



・模様選択時は、針を上げます

針が折れ、ケガをします。

・針先に注意する

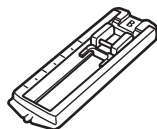
ケガをする恐れがあります。



下糸巻き軸を左にしてください

下糸巻き軸が右側にあると、針が上下しません。

ボタンホール押え

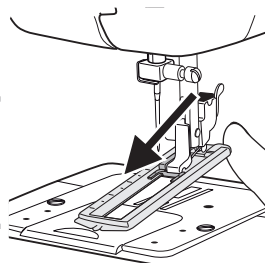
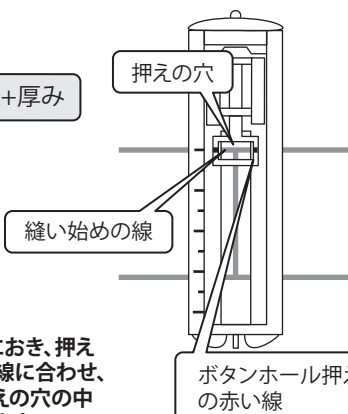
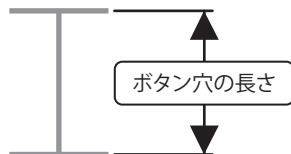


- 1** ジグザグ押えをはずし、ボタンホール押えを取りつけます。

押えの取りかえかたはP9をご覧ください。

- 2** ボタンの大きさと厚さ、布地の種類に応じてボタン穴の長さを決めます。

ボタン穴の長さ=ボタンの直径+厚み



- 3** 布地をボタンホール押えの下におき、押えの赤い線を布地の縫い始めの線に合わせ、布地のボタン穴の中心線が押えの穴の中央になるようにして押えを下げます。

ボタンホール押え外枠は前後にスライドします。

ボタンホール押えは下げるときに外枠を手前に引いておきます。

■ 縫い方

| 模様 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|-----|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| 縫い方 | <p>AからBの位置でミシンを止めます。</p> | <p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p> | <p>BからCの位置でミシンを止めます。</p> | <p>5~6針かんぬき止めをし、ミシンを止めます。</p> |

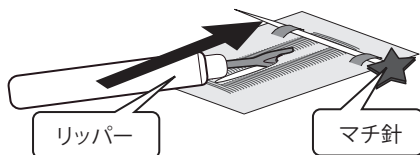
●ボタンホールができたら・・・



先端に注意する
(リッパー、マチ針)

ケガをする恐れがあります。

- ・付属のリッパーで切り開きます。
- ・切り過ぎないように、マチ針等を使用します。
(ストッパーになります)



●まつり縫い(ブラインドステッチ)



模様選択時は、針を上げます

針が折れ、ケガをします。



針先に注意する

ケガをする恐れがあります。

ジグザグ押え



1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天びんが上がるまではずみ車を手前にまわします。

2 模様選択ダイヤルをまわし、まつり縫い模様を選びます。

ズボンやスカートの裾上げ、袖口の裁縫に用います。服の寸法直しなどにもご利用いただけます。

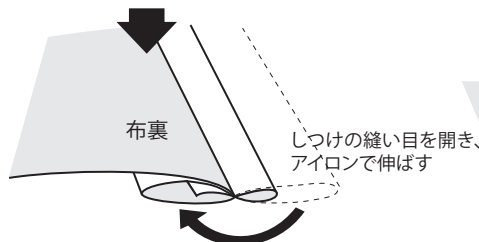
3 布地を図のように折り、しつけをします。

4 はずみ車を手前にまわし、針が左はしで布裏がわずかにかかる位置で押えを下げ、「ゆっくり」のスピードで縫いはじめます。

針が左はしするとき、布裏からはずれないように注意しながら縫い進めます。

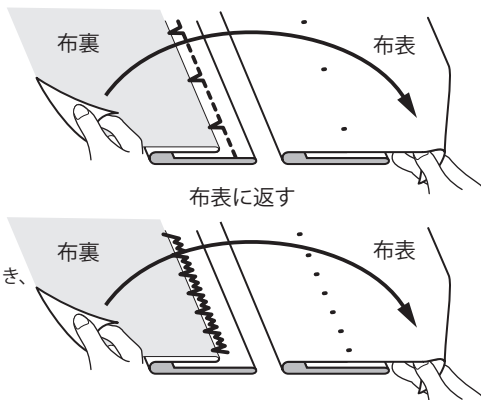
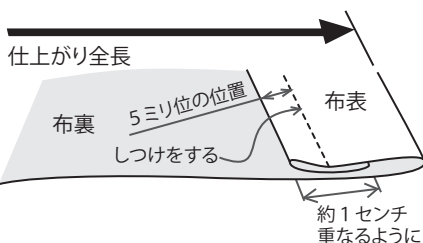
5 ミシンを止め、布地をはずします。

6 縫いあがった布地を返し、しつけ糸を抜きます。



まつり縫い模様では針が左はしするとき、布地の折山に針がかかる量が少ないほどきれいに仕上がります。また、布地の折山に針にかからなければ仕上がりが目とびになります。

まつり縫い 伸縮まつり縫い



縫い始めるときは、押えを下げます

糸が絡み、縫い損じになります。

●点線ジグザグ縫い



下糸巻き軸を左にしてください

下糸巻き軸が右側にあると、針が上下しません。



針先に注意する

ケガをする恐れがあります。



模様選択時は、針を上げます

針が折れ、ケガをします。

1

糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天びんが上がるまではずみ車を手前にまわします。

2

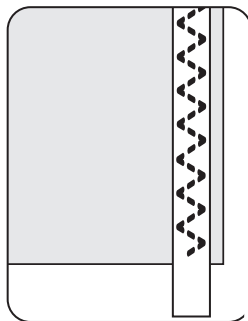
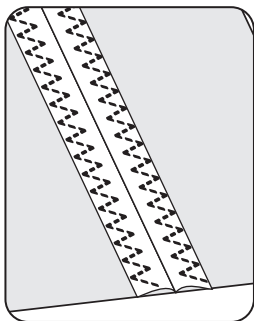
模様選択ダイヤルをまわし、点線ジグザグ模様を選びます。

ジャージやトリコットなどの伸縮性のある布地の縫製に適したジグザグ縫いです。布地が伸びても縫い糸が切れません。伸縮性布地の縁かがりやゴムひもの縫い付けにも利用できます。

ジグザグ押え

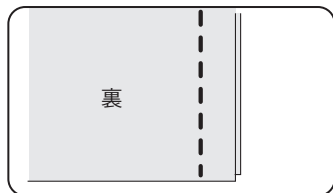


点線ジグザグ模様



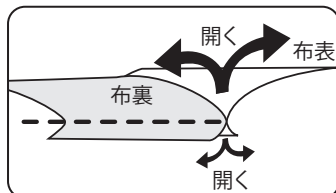
ぬってみる

●パッチワーク



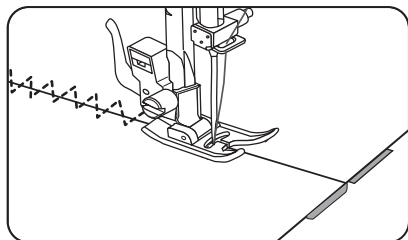
1

二枚の布地の表を合わせ、直線縫いで縫い合わせをします。



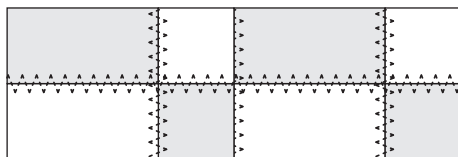
2

縫い合わせを開きます。



3

両方の布地に模様がまたがるようにして縫います。



いろいろな布地を縫い合わせ、装飾に使います。

●伸縮強化縫い



下糸巻き軸を左にしてください
下糸巻き軸が右側にあると、針が
上下しません。



模様選択時は、針を上げます

針が折れ、ケガをします。



針先に注意する

ケガをする恐れがあります。



ジグザグ押え

伸縮縫い



縁かがり縫い



ジグザグ縫い



三重

直線縫い



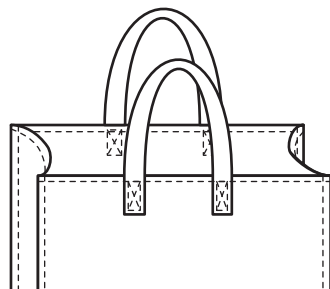
伸縮縫いは布地をのばしても縫い糸は切れません。
三重直線縫いは非常に強いのびない縫い目です。

1 糸が絡まないように糸はしを持ち、針・天びんが上がるまではずみ車を手前にまわします。

2 模様選択ダイヤルをまわし、いずれかの伸縮強化縫い模様(4種類)を選びます。

ジャージ・メリヤスなどの伸縮性布地や、力がかかってほつれやすい部分、デニムなどの丈夫な布地の縫い合わせに最適です。

伸縮性布地を縫う場合は、ニット針を使うと、目飛びや糸切れを防ぎます。



●アップリケ

市販や自作のアップリケ布地を丈夫に縫いつけます。

1 アップリケ布地を止めます。のり付けまたはしつけをします。

2 アップリケ布地の布はしを縁かがりと同じ要領で縫います。

急な角度を縫う場合、布はしに針を落とした状態で押えを上げ、布をまわします。

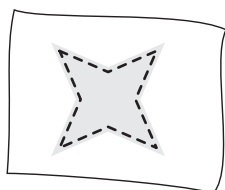


ジグザグ押え

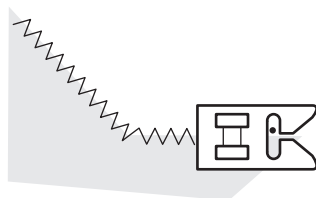
ジグザグ
中



ジグザグ
大



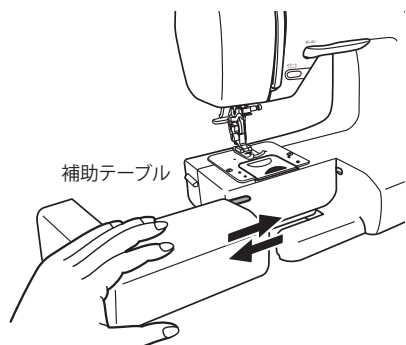
のり付けまたはしつけをします



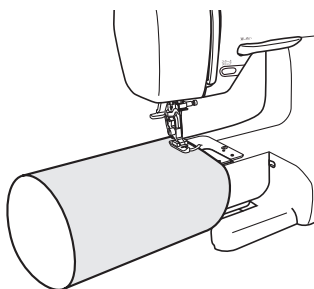
●フリーアームの使いかた

- ・補助テーブルは左下の図のように取りはずすことができます。
- ・補助テーブルをはずすと、ベッド部分は右下の図のようにフリーアームとしてお使いいただけます。フリーアームは袖・すそなどの筒ものを縫うときに便利です。

●補助テーブルのはずしかた



●フリーアームの使いかた



●別売りフットコントローラーの使いかた



注意



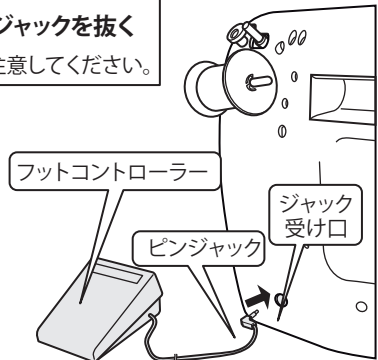
火災・感電・ケガのおそれがあります。



作業が終わったら、フットコントローラーのピンジャックを抜く
フットコントローラーのピンジャックの取り扱いに注意してください。

- 1 フットコントローラーのピンジャックをミシン本体のジャック受け口に奥まで確実に差込みます。
- 2 電源コードを接続し、電源スイッチを「ON」にします。(P10参照)
- 3 フットコントローラーを少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
踏み込むほどミシンのスピードが速くなります。
- 4 踏み込むのをやめるとミシンは針上で停止します。

※ミシン本体のスピード調節つまみでフットコントローラーでの最高速度が調節できます。



フットコントローラーに物を載せない

ワンポイント

スピードがおそい…

▶ スピードつまみを「はやい」にする

つまみが「ゆっくり」の位置にあるとフットコントローラーを踏み込んでもスピードが速くなりません。

ミシンが動かない…

▶ スタート/ストップボタンでは動きません

フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンを押しても動きません。

お手入れのしかた



注意



電源プラグを抜く

突然動くとケガをするおそれがあります。



針先に注意

ケガをするおそれがあります。

カマの中にほこりや糸くずがたまるるとミシンの回転が重くなるだけでなく、故障の原因になります。次の手順で掃除や確認を行ってください。

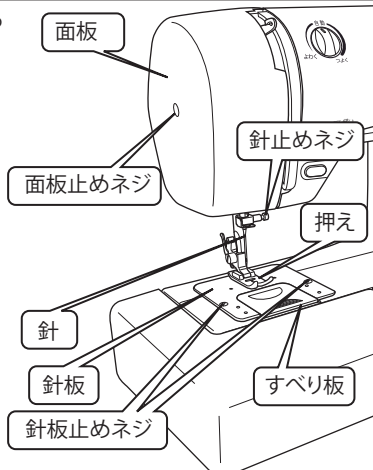


針をはずします

ケガをするおそれがあります。

●お手入れの前に

- 1 押え上げレバーで押えを上げます。
- 2 すべり板をはずし、上糸、下糸(ボビン)をはずします
- 3 はずみ車をまわし、針を上げます。
- 4 針板ドライバーで針止めネジをゆるめ、針をはずします。(P8参照)



●ゴミをとる(外ガマ内と送り歯ミゾすき間)

5 針板をはずします。

針板止めネジ2本を針板ドライバーではずします。

6 ボピンケースがボピンケースストッパーで回らないことを確認します。

通常、ボピンケースは回転しません。ボピンケースストッパーで止められています

7 ボピンケースをはずします。

8 外ガマのほこりや糸くずを取り除きます。

付属のブラシを使用します。

! 外ガマの先端に触れない

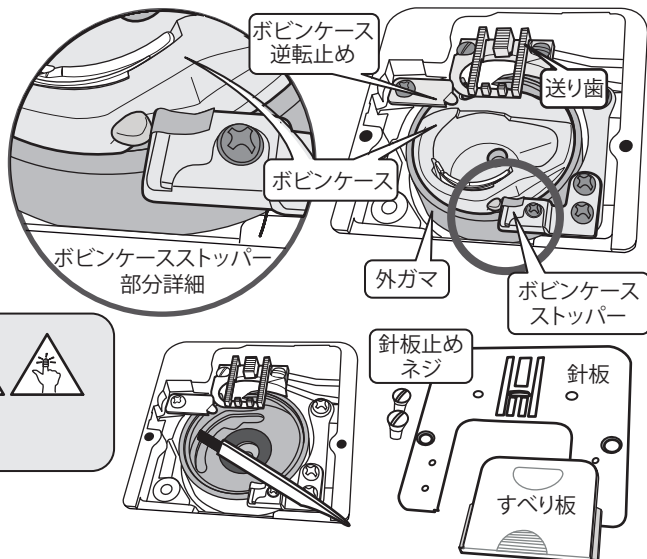


ケガをするおそれがあります。

! 掃除中ははずみ車に触れない



ケガをするおそれがあります。



電源プラグを抜く

ケガをするおそれがあります。

●ボピンケースを装着する

9 ボピンケース外周のへこみ部分を送り歯の下に挿入し、水平に外ガマの上に置きます。

6 のボピンケースストッパーにセットされていることを確認します。

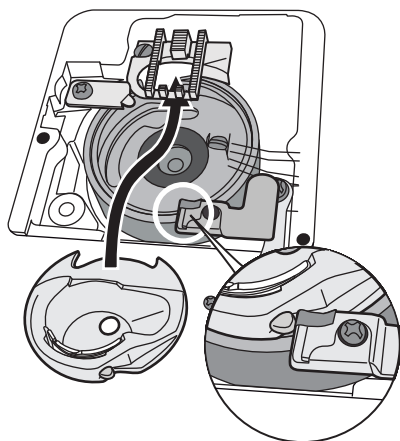
10 カマ・ボピンケースより手を離し、はずみ車が抵抗なくまわることを確認します。

ボピンケースは回転しません。

11 針板をのせ、針板止めネジでしっかり固定します。

12 もう一度、はずみ車をまわします。

正常にセットされているかを確認します。



外ガマの先端に触れない

ケガをするおそれがあります。



カマ部分は注油しない

糸がからみ、故障します。

●ランプの交換



ランプに注意!!

熱くなっています。
割れてケガをします。



電源プラグを抜く

ケガをするおそれがあります。

- 1 面板止めネジをはずし、面板を取り除きます。
- 2 ランプを左にまわし、はずします。
- 3 新しいランプをまっすぐに右にまわし、奥までしめます。

●注油について

このミシンは注油の必要はありません。

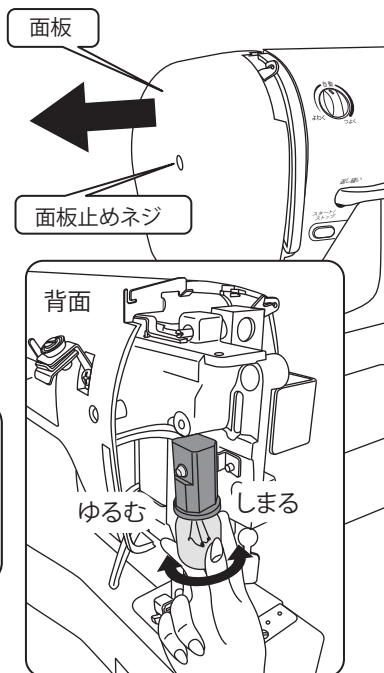
長期にご使用にならない場合は、ほこりや油の乾燥などで動かなくなることがあります。

ご購入店または当社のサービス係にお問い合わせください。



はずみ車がまわらないときは、電源を切ってください

ケガをするおそれがあります。
破損や故障します。



こんなときは(調子が悪い場合)

ミシンの調子が悪い場合は、まず次のことを確かめてください。

| 不 具 合 | 原 因 | 処 置 | 参 照 ページ |
|----------|---|--|---|
| ミシンが動かない | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの差し込みが不十分である ●電源スイッチが入っていない ●下糸巻き軸が右になっている | <p>しっかり差し込みます</p> <p>電源スイッチを入れます 下糸巻き軸を左にします</p> | <p>P10</p> <p>P10</p> <p>P10</p> |
| 上糸が切れる | <ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●ボビンケースに糸がからまっている ●針の取り付け方がまちがっている ●糸調子が強すぎる ●布地に対して糸が弱すぎる | <p>正しくかけ直します。 からんだ糸を取りのぞきます 正しくつけ直します。</p> <p>適正な強さに調節します。 布地と糸、針の関係を合わせます</p> | <p>P15、16</p> <p>P28、29</p> <p>P8</p> <p>P20</p> <p>P20</p> |

| 不 具 合 | 原 因 | 処 置 | 参 照 ページ |
|-------------------------|---|--|--|
| 下糸が切れる | <ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●ボビンケースに糸がからまっている ●かまに糸くずがたまっている ●下糸の調子が強すぎます | <p>正しくセットし直します からんだ糸を取りのぞきま す 掃除をします 上糸がはずれている</p> | <p>P14 P28、29</p> <p>P28、29 P15、16</p> |
| 縫い目かとぶ | <ul style="list-style-type: none"> ●針の取りつけ方がまちがっている ●針が曲がっているか、先がつぶれている ●布地に対して糸と針が合っていない | <p>正しくつけ直します 針を取りかえます</p> <p>布地と糸、針の関係を合わ せます</p> | <p>P8 P8</p> <p>P20</p> |
| 縫い目がしわになる | <ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方がまちがっている ●ボビンのセットがまちがっている ●針の先がつぶれている ●糸調子が強すぎる | <p>正しくかけ直します 正しくセットし直します 針を取りかえます 適正な強さに調節します</p> | <p>P15、16 P14 P8 P20</p> |
| 布地を送らない | <ul style="list-style-type: none"> ●縫い目の長さが布地に合っていない ●送り歯に糸くず、ごみがたまっている | <p>模様を選び直します</p> <p>掃除します</p> | <p>P18</p> <p>P28、29</p> |
| 針が折れる | <ul style="list-style-type: none"> ●布地を無理にひっぱっている ●針の取りつけ方がまちがっているか、止めかたがゆるい ●布地に対して、針が細すぎる ●糸調子が強すぎる | <p>手は布地にそえるだけに します 正しくつけ直します</p> <p>布地と糸、針の関係を合わ せます 適正な強さに調節します</p> | <p>P19</p> <p>P8</p> <p>P20</p> <p>P20</p> |
| 回転が重く音が高い | <ul style="list-style-type: none"> ●かまの内部に糸くず、ごみがたまっている ●送り歯にごみがたまっている | <p>針板をはずして掃除します</p> <p>針板をはずして送り歯を掃 除します</p> | <p>P28、29</p> <p>P28、29</p> |
| 縫い目に輪ができる | <ul style="list-style-type: none"> ●ボビンのセットがまちがっている ●糸のかけかたがまちがっている ●糸調子がつり合わない | <p>正しくセットし直します</p> <p>正しくかけ直します 適正な強さに調節します</p> | <p>P14</p> <p>P15、16 P20</p> |
| 布地の裏側がタオル布のようになる(20ページ) | <ul style="list-style-type: none"> ●上糸のかけ方がまちがっている ●上糸調子ツマミがよわになっている | <p>正しくかけ直します 適正な強さに調節します</p> | <p>P15、16 P20</p> |

ここに記載されている項目以外の不調、または部品の交換、電気系統の故障の修理サービスはご購入店または修理サービス要領に示す「お客様相談係」におたずねください。

修理サービス要項

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入日から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保管してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承ります。ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申し付けください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えています。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書の無料修理保証期間を超過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料修理サービスを行います。ただし、次に該当する場合は有料でも修理できない場合があります。ご購入店にご相談ください。
 - イ. 保存上の不備または誤使用による不調、故障または損傷したとき。
 - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地震により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ. ご購入後の移動または輸送による不調、故障、損傷したとき。
 - 二. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したための不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたり使用されたミシンの精度劣化は修理によって修復できないことがあります。
 3. 有料修理サービスの場合の費用は別に定める必要部品、交通費および技術費用の合計金額となります。

仕様

| | | | |
|------|---------------------------|--------|-------------|
| 形式 | YM98-1 | 周波数 | 50Hz/60Hz |
| 寸法 | 幅37.3cm・奥行17.3cm・高さ25.8cm | カマ形式 | 水平全回転カマ |
| 重量 | 5.8kg | ポビン | HAプラスチックポビン |
| 定格電圧 | 家庭用交流電源 100V | 押え高さ | 針板面より約6mm |
| 消費電力 | 55W(口径E12ランプ5w含) | 最大送り長さ | 3.8mm |
| 適用針 | HA×1 #9~#16 | 最大針振幅 | 5.0mm |

上記仕様は予告なく変更されることがあります。

サービス工場のご案内

純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。
ご購入いただきましたマシンは下記の専門工場にて点検修理等のサービスを実施いたします。なお、サービスには有償の場合があります。サービス工場にお問い合わせの上、ご送付ください。

修理マシンをご送付の際には、このマシンに使われていた外箱と発泡スチロールをご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

株式会社 **アックス ヤマザキ** ミシンサービス係 行き

TEL:06-6717-5851 FAX:06-6741-7875

 **フリーダイヤル：0120-40-5851**

月～金曜日 午前 9：00～12：00 午後 1：00～5：00

(土曜 / 日曜 / 祝祭日休み)

保証書

| | | | | |
|---------|-------------|---------|------|------------|
| 機種 | YM98-1 シリーズ | | 機械番号 | |
| ※お買い上げ日 | 年 月 日 | | 保証期間 | お買い上げ日より1年 |
| ※お客様 | ご住所 | 〒 - 番 - | | 様方 様 |
| | お名前 | | | |
| ※販売店 | 住所 | 〒 - | | |
| | 店名 | 番 - - | | |

ご購入後には※印欄への記入の有無をご確認ください。記入がないときは直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行しません。紛失しないように大切に保管してください。

無料修理保証について

- この取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに基づき正しい使用とお手入れがされ、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参・ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
 - 保証期間中の修理などアフターサービスについてのご不明な点は、お買い上げの販売店または直接下記へご相談ください。
 - 次のような場合は保証期間内であっても有料修理になります。
 - 保証書の提示がないとき
 - 保証書にお客様名・お買い上げ日・販売店の記入がないとき
 - 消耗品の交換
 - お買い上げ後の落下や輸送上の故障・損傷
 - ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷
 - 次のような場合は有料でも修理ができないことがあります。販売店にご相談ください。
 - 保管上の不備またはまちがった使用での不調・故障または損傷
 - 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障・損傷
 - お買い上げ後の落下や輸送上の故障・損傷
 - 職業者としての無理な誤使用による故障・損傷
 - 購入店または当社の指定する販売店・サービス店以外での修理、分解や改造されたための故障・損傷
 - 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This Warranty is valid only in Japan.
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品などで本書記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合は、直接下記へご相談ください。
 - 長期間にわたり、ご使用されたミシンの精度の劣化は元どおりに修復ができないことがあります。
 - 有料修理の場合は別に定める必要部品代金、輸送費および技術料金の合計となります。
- ※ この保証書は本書により明示した期間、条件のもとにおいて有料修理をお約束するものです。従って、この保証書によりお客様の法律上権利を制限するものではありません。
なお、ご不明な点はお買い上げの販売店または直接下記へお問い合わせください。

【保証責任者】



〒544-0022 大阪市生野区舎利寺3丁目12番5号
TEL (06) 6717-5851~3/FAX (06) 6741-7875

株式会社 アックス アマザキ